

個別避難計画(個別台帳)

▶ 個別避難計画の作成について

個別避難計画とは、災害時に自ら避難することが難しい高齢者、要介護者、障がい者(災害時避難行動要配慮者)などが、どのような避難行動をとればよいのか、誰が支援すればよいのかなどについて、あらかじめ本人・家族と支援する側の方がその方法等を確認し作成する、一人一人の状況に合わせた個別の避難行動計画のことです。

個別避難計画を作成する対象者は、災害時や緊急時に支援や配慮を必要とする方で、ご自身の情報を区長、自主防災組織、民生委員・児童委員、社会福祉協議会、消防署等(地域関係者)や消防団、近隣住民等(避難等支援者)に開示することについて同意している人としています。

津久見市では、平成23年度から要援護者支援計画、いわゆる「お守りキット」を導入しており、このお守りキットと個別避難計画を統合することにより、地域や登録者に新たな負担を掛けることなく災害時や緊急時に地域の中で声掛けや支援を受けやすくなるよう整備しております。

災害時や緊急時に支援や配慮が必要な方で、まだ登録を済ませていない方は、お住いの地区の自主防災組織や民生委員・児童委員等へ相談の上、早めの登録をお願いします。

なお、個別避難計画を作成した方で、希望される方は自動的にマイ・タイムラインが作成され、ご自身と支援者に配備されることとなります。

▶ 個別避難計画(個別台帳)の作成

① 個別台帳を作りましょう

災害時や緊急時に地域の中で声掛けや支援を受けやすくするために個別避難計画の申請を行い「個別台帳(お守りキット)」を作りましょう。

② 家族や近隣住民、地域の方に支援者登録のお願いをしましょう

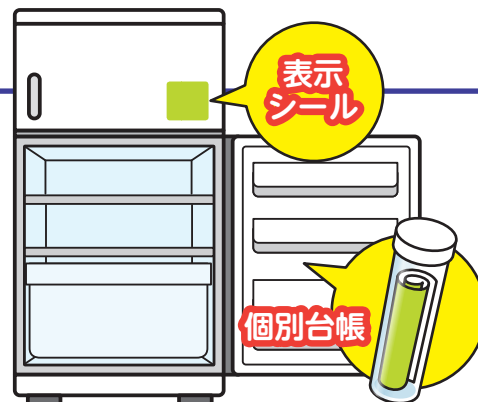
家族や近隣住民、地域の方などに「個別台帳(お守りキット)」やマイ・タイムラインの「支援者」として登録していただくことで支援を受けやすい関係を作っておきましょう。

③ 避難場所や避難所、避難経路を事前に確認しておきましょう

地震・津波、風水害、土砂災害などの災害の種類によって避難する場所やそのルートが変わります。避難場所・避難所等へ向かうルート上に危険な箇所がないかを実際に歩いて確認しておくことも大切です。

④ 冷蔵庫に保管しましょう

個別台帳やマイ・タイムラインは、お守りキットと同様にプラスチック製の容器に入れて自宅の冷蔵庫に保管し、表示シールを貼ることで救急隊や支援者にわかりやすくしておきましょう。また、プラスチック製の容器の中に処方箋やお薬手帳の写しをいれておくとも便利です。



⑤ 更新をしましょう

ご自身の状態・状況や支援者などに少しでも変化や変更があった場合は随時更新をしてください。